

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月15日

【評価実施概要】

事業所番号	0172902249		
法人名	有限会社 永翔		
事業所名	グループホーム であい		
所在地	北海道旭川市東光16条7丁目3番15号 (電話) 0166-37-8811		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年12月14日	評価確定日	平成21年12月21日

【情報提供票より】(平成21年11月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年6月20日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20人	常勤	16人, 非常勤 4人, 常勤換算 10.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,600円	その他の経費(月額)	17,500~25,000円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,350円		

(4) 利用者の概要(11月20日現在)

利用者人数	17名	男性	4名	女性	13名
要介護1	4名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5		要支援2			
年齢	平均 81.8歳	最低	65歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ふくい内科小児科・豊岡中央病院・大和歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所と町内会の共催で「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症への理解及び広報に取り組んでいると共に地域と連携・協力体制を構築している開設5年目の2ユニットのグループホームです。また、近隣の小学校から地域の民生委員の推薦で車椅子の寄贈を受けたり、家族も参加して小学校のリングブル収集に協力するなど地域の活動への取り組みも実践されています。職員と家族のコミュニケーションを大切に、双方向で日々の出来事や生活の様子など「連絡帳」で情報提供されると共に不安な点や要望、健康状態について話し合わせケアサービスの質の向上に活かされる取り組みが拡がりつつあります。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の評価では、職員の段階に応じた育成計画について改善点が挙げられていましたが、ケア研究会や同一地域の同業者とのネットワーク作りやホーム独自の職員の自己評価を通じて体系的な職員を育てる取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気付きや改善の機会として利用されています。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせケアサービスの質の向上に活用しています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議で、委員が参加する町内会との共催で40数名の参加を得て「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症への理解及び広報に具体的な取り組みが実践されています。また、外部講師には、医療法人のケアプランセンターから講師を招聘して「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」についての講演で活発な意見交換と認知症を良く知る機会の提供が行われています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族や来訪者等からの苦情、要望、不安な点など話し合わせ、そこでの意見は職員のミーティング等で話し合わせ改善策が取られています。また、「連絡帳」では、担当職員と家族との通信が徐々に行われており、家族の気持ちになったケアの実践が行われています。「であい通信」では、「であい秋祭り」等の行事参加の様子など掲載されています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日常生活を通じた近隣への散歩での挨拶や町内会のゴミ拾い、敬老会等の行事参加や小学校のリングブル収集への協力、認知症サポーター養成講座の開催等地域との連携・協力体制が構築されています。また、ホーム主催の「であい秋祭り」では、町内の人達や家族等の参加で地元の人々との交流促進に努めています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、「思いやり・生活にうおい・感謝の心」の事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、その実践の為にユニット毎の目標を掲げ、日々取り組んでいる。		特筆すべき点として、理念を達成するためのユニット毎の目標を明確化していると共にホーム独自の自己評価が実施されている。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	日常生活を通じた近隣への散歩での挨拶や町内会のゴミ拾い、敬老会等の行事参加や小学校のリングプル収集への協力、認知症サポーター養成講座の開催等地域との連携・協力体制が構築されている。ホーム主催の「であい秋祭り」では、町内の人達や家族等の参加で地元の人々との交流促進に努めている。		特筆すべき点として事業所と町内会の共催で「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症への理解及び広報に取り組んでいる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ新たな気付きや改善の機会として利用されている。また、外部評価の結果については、職員間で話し合わせケアサービスの質の向上に活用している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	委員は、町内会役員、地域の居宅支援事業所の介護支援専門員、家族、ユニットリーダー、管理者で構成され認知症への理解について等具体的内容で話し合われている。		今後は、委員が全員参加した中での会議の開催は難しいと思われるので、利用者と一緒に過ごす機会やホーム主催の行事を通じて認知症について理解を深めるよう年6回を目安にした開催を期待します。
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	事業所は、市担当者や包括支援センターとの連携の重要性について理解し、行政や地域包括支援センターの研修会参加や情報の意見交換をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	毎月金銭管理の報告をしている。また、「連絡帳」では、担当職員と家族との通信が徐々に行われており、家族の気持ちになったケアの実践が行われている。「であい通信」では、「であい秋祭り」等の行事参加の様子、日常生活の様子等情報提供されている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	職員と家族のコミュニケーションを大切にし、双方向で日々の出来事や生活の様子など「連絡帳」で情報提供されると共に不安な点や要望、健康状態について話し合わせケアサービスの質の向上に活かされる取り組みが拡がりつつある。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の離職率は低く、管理者との面談を通じて離職を防ぐ取り組みが実践されている。また、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケア研究会や同一地域の同業者とのネットワーク作りやホーム独自の職員の自己評価を通じて体系的な職員を育てる取り組みが行われている。また、職場内でのOJT, OFF-JTが実施され、職員の段階に応じたトレーニングが実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ケア研究会で同業者との研修会や交流、情報交換、ネットワーク作りを勧めている。また、「認知症サポーター養成講座」の開催で、協力を仰ぎ共にサービスの質を向上させる取り組みが行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、入居前には家族、本人の見学等で職員や他の利用者、場の雰囲気に徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、畑作業や野菜の収穫、食事の準備や後片付け等一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を利用して、一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めて散歩や買い物など本人の意向を大切にしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、担当職員、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院への支援や訪問理美容の利用、散歩や買い物等事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と本人を知る常勤の看護師の配置で適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人、家族・医師・看護師と連携し慎重に対応するよう職員間で共通の認識が持たれている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーや羞恥心に配慮した言葉かけ、対応、個人情報の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、散歩や買い物、入浴等その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。また、保健所からのアドバイスを活かし、減塩食などの食事療法も取り入れている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、基本的には週3回の支援が行われ、安心・安全に入浴が楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら、かんばん作りやのり巻き、おはぎ作り、餅つきの手伝い、歌唱や体操参加等役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	「秋祭り」の屋台で焼き鳥ややきそばを楽しんだり、散歩や買い物、美容室訪問等戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、チャイムの設置の工夫で鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的な火災避難訓練の実施や来年早々のスプリンクラーの設置で災害対策が取られている。また、地域の協力が得られるように働きかけている。</p>		<p>今後は、火災発生時の避難誘導や一時避難場所の確保について検討されることを期待します。</p>
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>市保健所のアドバイスを基に職員が献立を作り、栄養バランスや摂取カロリー、水分・食事摂取量が把握されている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>敷地は広く、畑で野菜の収穫や花壇など作られ、利用者の楽しみごとや役割等の支援が行われている。また、ホーム内は広く開放的な玄関や事務室、物品庫や職員の休憩室も確保されている。換気システムにより、利用者にとって気になる臭いや空気のおよみ、音の大きさは感じられない。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と相談しながら、使い慣れた家具や愛用のものを持ち込み、家族の写真を飾る等本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。